

表Ⅱ－３－２ 自薬局の被害想定

対象区分		被害
建物		ひび割れ程度。業務継続可能。
建物内部（天井・ガラス・調剤室）		ガラスが割れる程度。業務継続可能。
調剤関連機器		店舗内の物品は散乱。機器の損傷等は見られないが、停電のため、計量器・分包機ほか各種機器停止。
医薬品・資材	医薬品	仕様可能（備蓄3日分）。物流混乱のため、1週間供給なし。
	消耗品	薬袋等の備蓄あり。物流混乱のため、1週間供給なし。
情報システム		機器の損傷等は見られないが、停電のため、レセコンほか情報システムは使えない。
人材	人材被害	なし。（医療救護所への出勤なし）
	従業員参集（営業時間外に発災）	[薬剤師] 3時間：25%、6時間：25%、12時間：50%、24時間：50%、72時間：50%、1週間：50% [事務] 3時間：50%、6時間：50%、12時間：50%、24時間：50%、72時間：50%、1週間：50%
	応援の見通し	なし。
お客様	お客様の被害	なし。
	利用見通し	地域の被災状況は中程度のため、通常の医薬品需要に近い状態が想定される。飲料水や食品など、日用品に対するニーズは多くなる。
ライフライン・ユーティリティー		薬局内は停電・断水、電話・インターネット通信途絶、トイレ使用不可。